

TOTO

# 台所用シングルレバー混合栓(ハンドシャワータイプ) TKN35P型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。  
その表示と意味は次のようにになっています。



この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

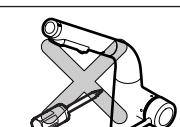
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



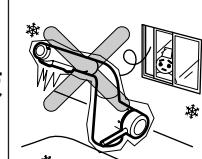
は、してはいけない「禁止」内容です。  
左図は、「分解禁止」を示します。



は、必ず実行していただく「強制」内容です。  
左図は、「必ず実行」を示します。

! 警 告		
禁 止	<b>湯水を逆に配管しない</b> 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	<b>給湯温度は85°Cより高温で使用しない</b> 85°Cより高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
分解禁止	<b>この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない</b> 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

! 警 告		
禁 止	<b>寒冷地用</b> <b>水抜コックは水抜き以外の目的で開けない</b> 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	 

! 注 意		
禁 止	<b>強い力や衝撃を与えない</b> 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	<b>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く</b> <b>また、寒冷地用の場合は、「⑨ 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に行う</b> 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

## 2

# 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧 最高水圧	0.05MPa(流動時) 0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85°C以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40°C
	寒冷地用	-20~40°C (ただし、0°C以下は水を抜いた状態)
用 途		一般住宅台所用

## 4

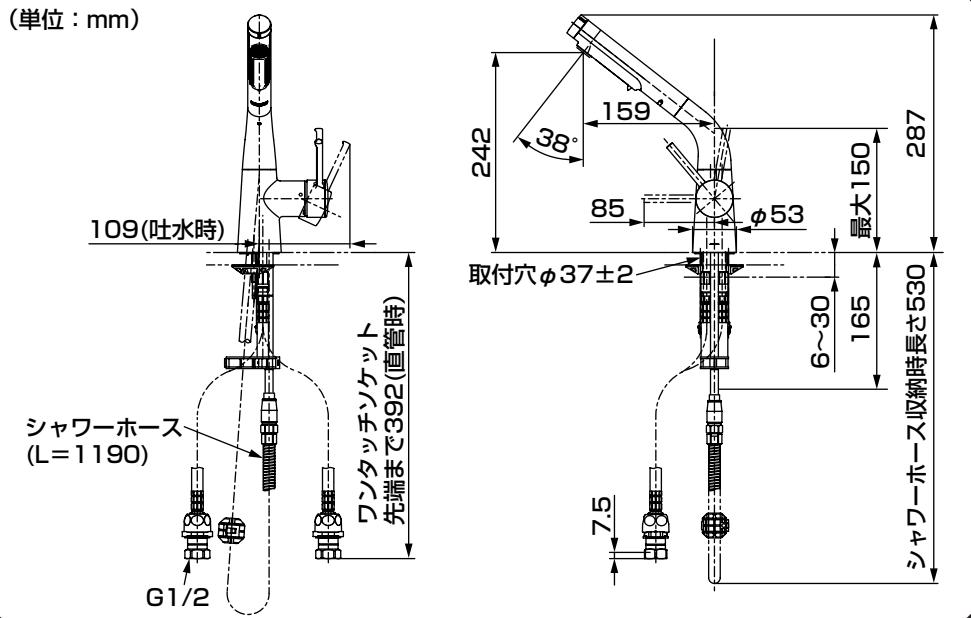
# 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3 MPa程度に減圧してください。  
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。  
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 瞬間式給湯機の場合、給湯機の能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。  
下図に示す範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。  
システムキッチンなどは、その給水配管要領に従ってください。

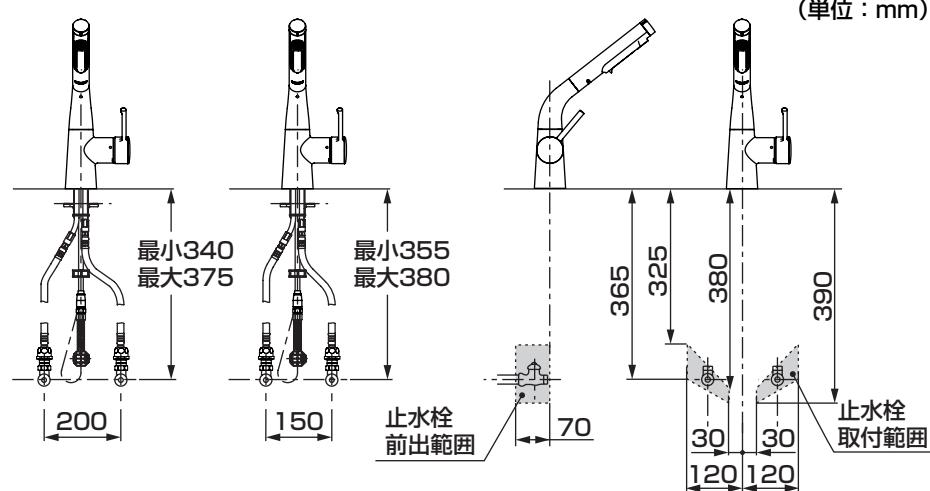
## 3 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

(単位 : mm)



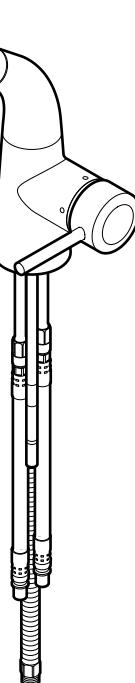
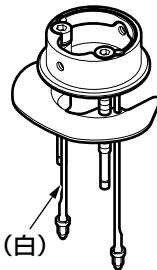
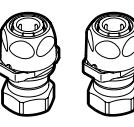
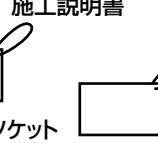
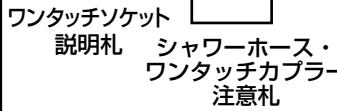
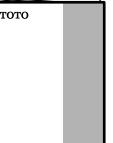
(単位 : mm)



## 5

## 部品の確認

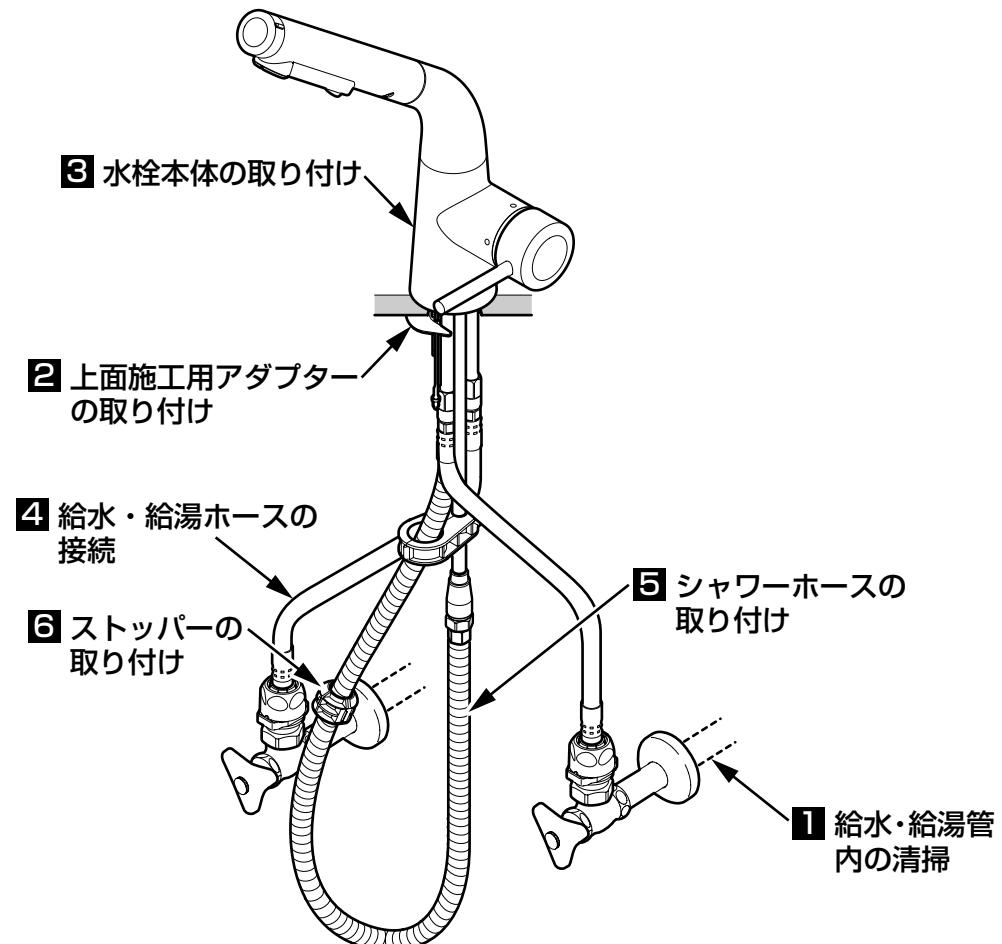
次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	その他
 水栓本体  (白) 上面施工用アダプター  ワンタッチソケット (一般地用のみ逆止弁付き)	 ホースガイド  ストッパー  水栓本体固定ねじ  キャップ  仮止め工具  TOTO  施工説明書  ワンタッチソケット説明札  シャワーホース・ ワンタッチカブラー 注意札 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">           必ずお客様にお渡しください         </div>  TOTO  取扱説明書  六角棒レンチ
<b>一般地用</b>  ワンタッチカブラー (本体接続済)	<b>寒冷地用</b>  水抜コック付きホース (ワンタッチカブラー付き)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## 6-1

## 施工手順



## 1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

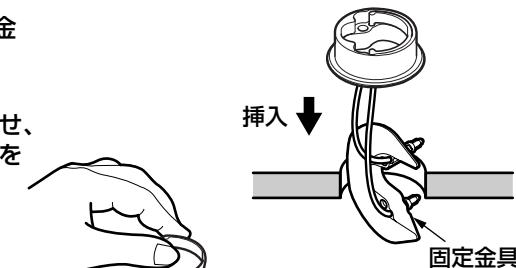
重  
要

## 2 上面施工用アダプターの取り付け

### 上面施工用アダプター施工上の注意点

- 上面施工用アダプターは、正しく取り付けてください。カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は 固めの補強板（合板など）を取り付けてください。
- 補強板が十分乾燥した状態で取り付けてください。
- 補強板に湿り気がある場合は水気をふき取り ドライヤーで乾かしてください。
- 取付面に養生シートなどがあれば取り除いてください。
- 取付可能なカウンター穴径は  $\phi 35 \sim \phi 39$  です。

①ボルト・座金（2本）を外して固定金具を取付穴に挿入する。



②上面施工用アダプターの方向をあわせ、固定金具が当たるまで引き上げ部材を引き上げる。

#### 注意

上面施工用アダプターの方向に十分に注意してください。

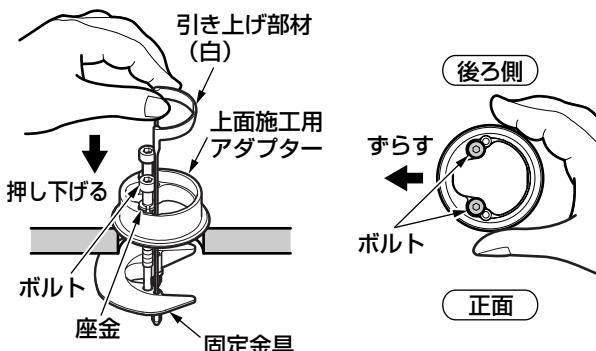


③引き上げ部材を引き上げたまま、ボルト・座金（2本）を固定金具に通し、手締めで4~5回転ねじ込む。

※④位置調整のため、最後までねじ込まないでください。



- ④引き上げ部材・ボルト・座金（2本）を押し下げ、上面施工用アダプターをボルトの方向に当たるまでずらす。



- ⑤ボルトに六角棒レンチを縦に差し込み、2本のボルトを交互に強く締め付ける。

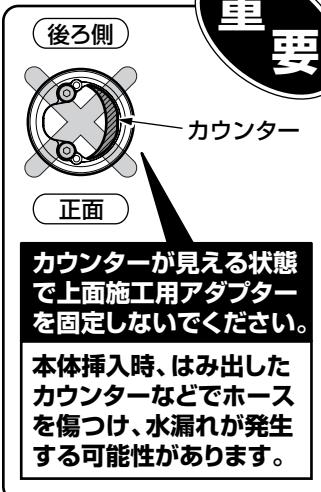


- ⑥さらに六角棒レンチを横にして2本のボルトを交互にしっかりと締め付け、確実に固定する。

**注意**  
2本のボルトがどちらも回らなくなるまで締め付けてください。



**重要**



### 3 水栓本体の取り付け

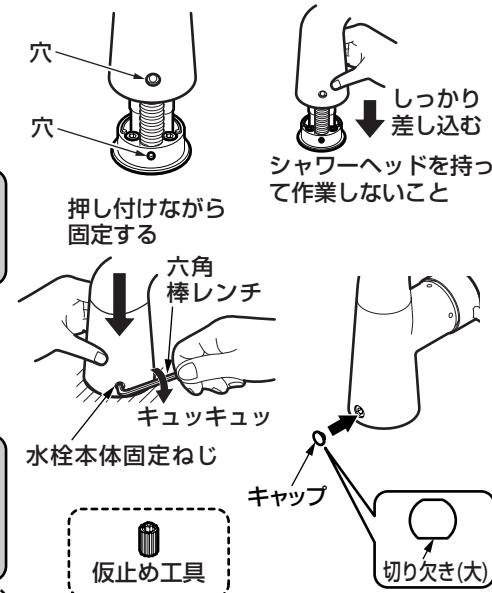
- ①先にシャワーホースを上面施工用アダプターに通し、給水・給湯ホースを通す。
- ②水栓本体と上面施工用アダプターの「後側ラベル」をあわせるようにしっかりと差し込む。

**注意**

- 水栓本体に浮きがないよう注意してください。
- 差し込みにくい場合は水栓本体を左右に軽くゆりながら入れてください。
- ③水栓本体固定ねじを仮止め工具で仮固定する。
- ④水栓本体が取付面に密着するようしっかりと押し付けながら、六角棒レンチを使用して水栓本体固定ねじを確実に固定する。

**注意**

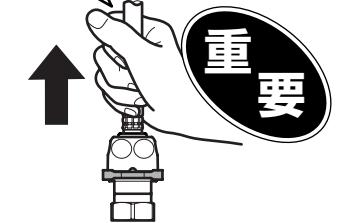
- ねじ山をつぶさないよう真っすぐに締め込んでください。
- 80mm以上のレンチを使用しないでください。  
(ねじ部が破損するおそれがあります)
- ⑤切り欠き(大)を下にして、穴にキャップを押し込む。



- ③ホースを**真っすぐ引っ張って外れない**  
**(抜けない)**ことを必ず確認する。

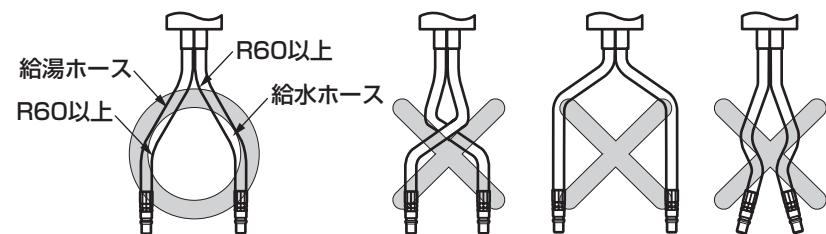
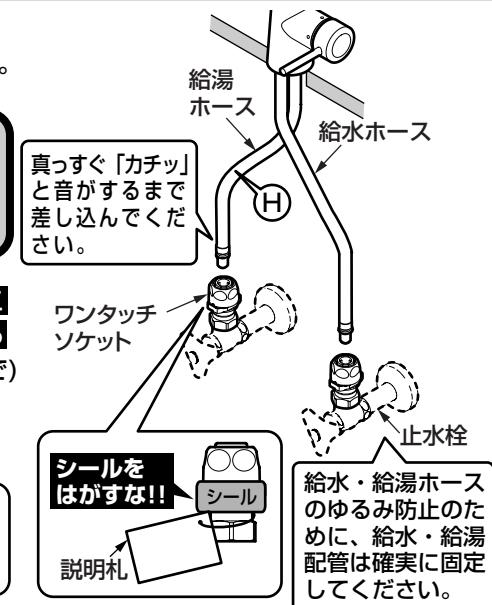
真っすぐ引っ張って外れないことを確認してください。

施工後、万一ホースを外した場合は、「**ワンタッチソケット**」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットとホース内の残水を抜いてからホースを差し込んでください。



### 給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを**必要以上**の力で曲げて**折らない**ように注意してください。  
ホースの**最小曲げ半径は60mm**です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- 給水・給湯ホースの銅管部分と、連結管（銅管）は曲げないでください。
- ホースを**無理に引っ張らない**でください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の**不要な接触**は避けてください。  
外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



## 5 シャワーホースの取り付け

### 一般地用の場合

- ①ワンタッチカプラーを連結管に「カチッ」と音がして、それ以上差し込めなくなるまで真っすぐ差し込む。

#### 注意

異物の付着がないことを確認してください。

\*この際、同梱の「シャワーホース・ワンタッチカプラー」の注意札を必ずホースに通してください。

- ②ホースガイドにシャワーホースが通るようにしてホースガイドを連結管の溝にしっかりと取り付ける。

### 寒冷地用の場合

- ①水抜コック付きホース側の袋ナットを回して、水抜コック付きホースをシャワーホースに接続する。

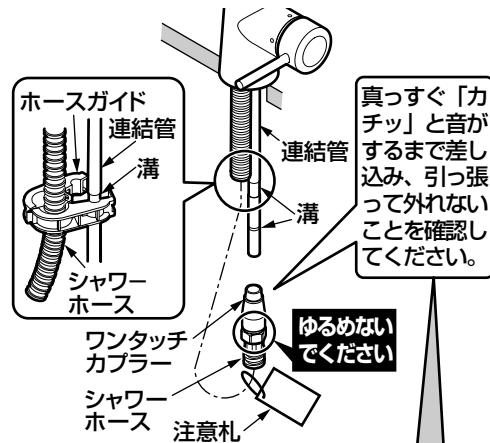
#### 注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- 締め付けの際は、工具（モンキーレンチなど）を使用して、確実に締め付けてください。
- 異物の付着がないことを確認してください。

- ②ワンタッチカプラーを連結管に「カチッ」と音がして、それ以上差し込めなくなるまで真っすぐ差し込む。

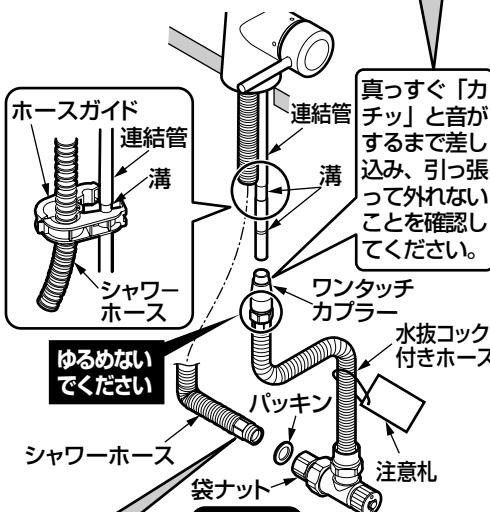
\*この際、同梱の「シャワーホース・ワンタッチカプラー」の注意札を必ずホースに通してください。

- ③ホースガイドにシャワーホースが通るようにしてホースガイドを連結管の溝にしっかりと取り付ける。



#### 注意

連結管（銅管）を曲げないでください。

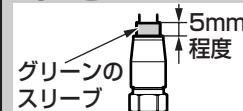


#### 注意

接続時、絶対にシャワーホース側のナットを回さないでください。

### 取り付け後の確認

- グリーンのスリーブが奥まで確実に差し込まれているか再確認すること



### 重要

- 奥まで確実に差し込まれているか再確認すること

### ワンタッチカプラーを取り外す場合



### 重要

### シャワーホース施工上の注意点

シャワーヘッドを引き出し、シャワーホースがスムーズに動くか確認してください。シャワーホースがスムーズに動かない場合は、下記の内容を確認してください。

- 給水・給湯ホースがシャワーホースを押さえ込んでいるか。
- シャワーホースが止水栓などに引っ掛かっていないか。
- シャワーホースがねじれていいないか。

また、ホースガイドは必ず取り付けてください。

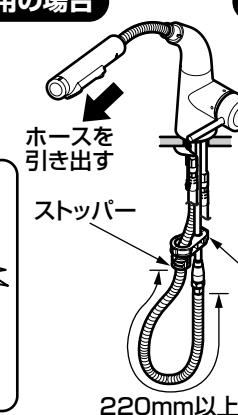
給水・給湯ホースの銅管部分と、連結管（銅管）は曲げないでください。

## 6 ストップバーの取り付け

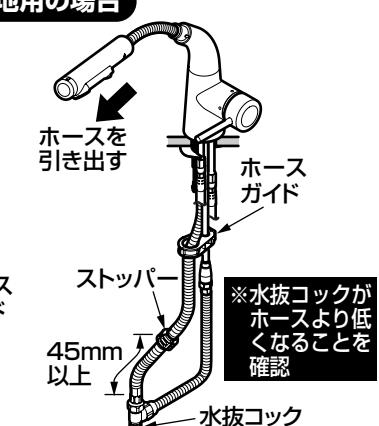
ストップバーを下図の要領でシャワーホースに取り付ける。

\*シャワーホースを引き出した状態（ストップバーがホースガイドに接触するまで）でシャワーホースにゆとりがないときは、ストップバーを適当な位置にずらしてください。

### 一般地用の場合

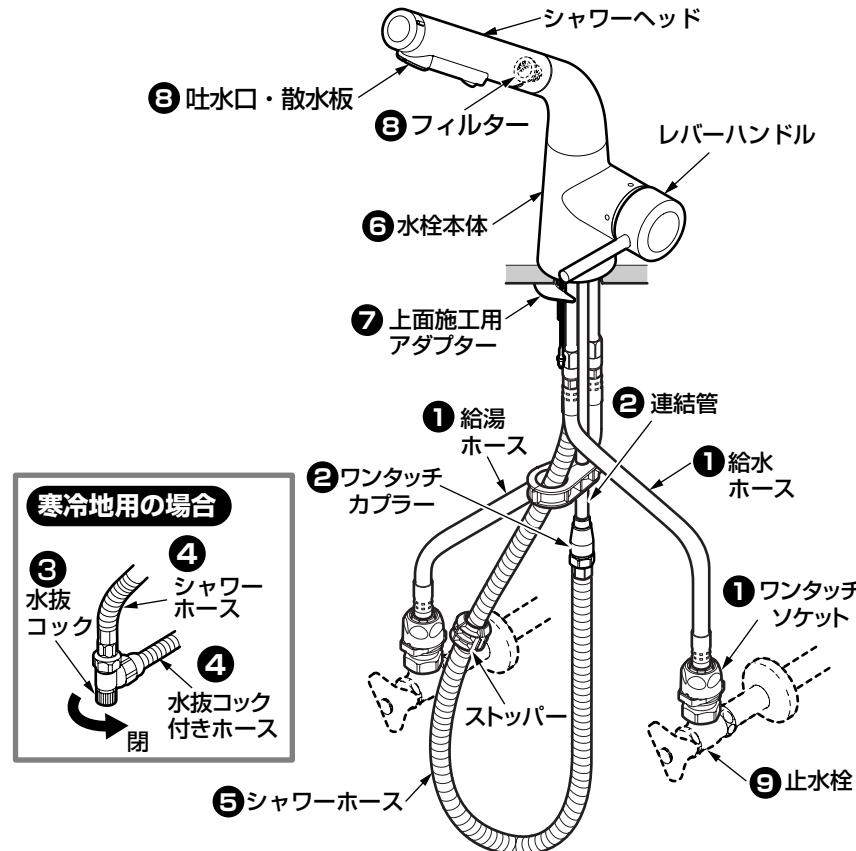


### 寒冷地用の場合



# 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



## 水出し確認・フィルターの掃除

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。

水出し確認後、フィルターの掃除をする。  
※取扱説明書「日ごろのお手入れ」参照



## 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ① 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかりと差し込まれていますか？

→ 6-3 - 4 「給水・給湯ホースの接続」参照

- ② ワンタッチカプラーは連結管にしっかりと差し込まれていますか？

→ 6-4 - 5 「シャワーホースの取り付け」参照

### 寒冷地用の場合

- ③ 水抜コックは、しっかりと閉まっていますか？

→ 水抜コックを閉める。

- ④ シャワーホースは、水抜コック付きホースにしっかりと接続していますか？

→ 6-4 - 5 「シャワーホースの取り付け」参照

## 動作確認

シャワーヘッドの動作はスムーズに行えるか確認してください。

- ⑤ シャワーホースにゆとりはありますか？

→ 6-4 - 5 「シャワーホースの取り付け」参照

## ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ⑥ 水栓本体の固定ねじのゆるみはないですか？

→ 6-3 - 3 「水栓本体の取り付け」参照

- ⑦ 上面施工用アダプターはしっかりと固定されていますか？

→ 6-2 - 2 「上面施工用アダプターの取り付け」参照

## 流量および吐水温度の確認

流量が少ないとときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

- ⑧ フィルター・吐水口・散水板のごみ詰まりはないですか？



→ フィルター・吐水口・散水板の掃除をする。

※取扱説明書「日ごろのお手入れ」参照

- ⑨ 止水栓は開いていますか？



→ 止水栓で流量を調節する。

## 8

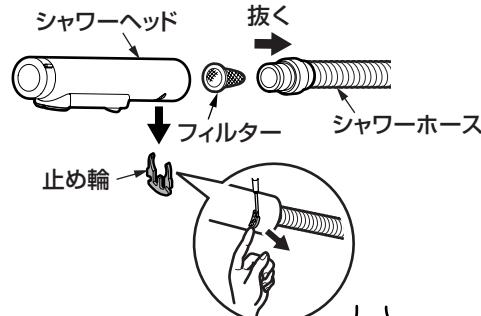
## 施工後の調節

### 全開流量の調節

この水栓は、少ない水で洗い物ができる節水節湯型の水栓です。レバーハンドル全開時の流量を **止水栓** で調節することでムダな水の使用や水はねを抑えることができます。

#### 1. フィルターの掃除をする。

※別紙取扱説明書「日ごろのお手入れ」参照



#### 2. レバーハンドルを手前(水側)いっぱいに回す。

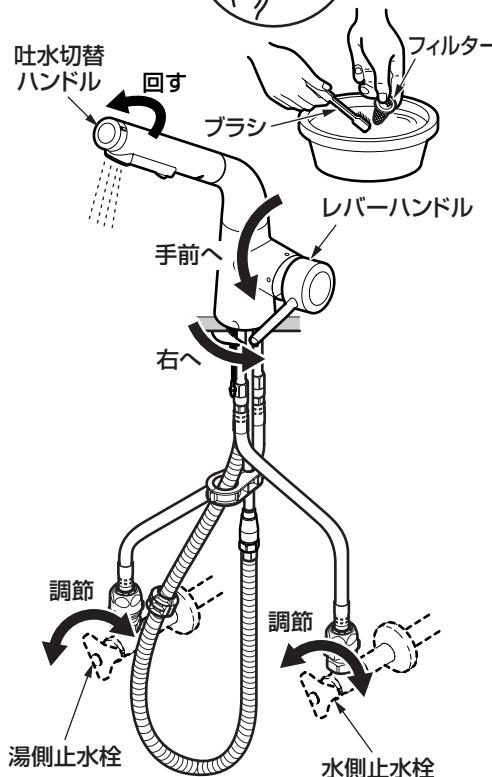
#### 3. レバーハンドルを右いっぱいに動かして、全開とする。

#### 4. 吐水切替ハンドルを左に回して整流吐水とする。

#### 5. 流量が7~8L/分程度(500mlのペットボトルをいっぱいにするのに約4秒)になるように水側止水栓で調節する。

※給水圧力・給湯圧力が低い場合は、止水栓を全開にしても流量が7~8L/分にならないことがあります。

#### 6. レバーハンドルを上側(湯側)いっぱいとし、3~5と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



## 9

## 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

#### 1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。

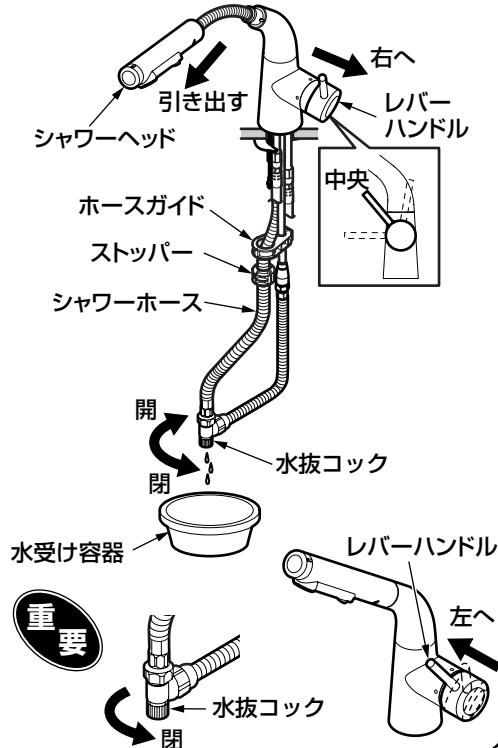
#### 2. レバーハンドルを中央位置で右に動かす。(水が出る状態)

#### 3. シャワーへッドを引き出す。シャワーへッドに取り付けられているストッパーがホースガイドに当たるまで引き出してください。

#### 4. 水抜コックの下に水受け容器(洗面器など)を用意し、水抜コックを開ける。

#### 5. 水抜コックから水が出なくなったら、シャワーへッドを振ってからシンクの底に置く。

#### 6. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを内側に閉じる。(水が出ない状態)



## 10

## 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがあります、故障ではありません。お客様に十分にご説明ください。

現象	説明
使い始めにくらべて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。